

町長に感謝状が贈呈されました！～収入保険制度～

1月24日、全国農業共済組合連合会（地区担当理事）より、松本町長に感謝状が贈呈されました。

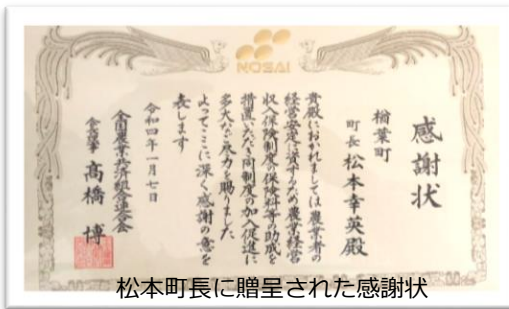
農業経営の安定化を図る観点から「収入保険」の周知を図ったことにより、加入者が増えていること等が高く評価されました。

右図のように様々なリスクから農業経営を守る制度として平成31年1月に収入保険が制度化されました。

◆自然災害や価格低下だけでなく農業者の経営努力では避けられない収入減少が補償の対象です。

◆加入対象者は、青色申告を行い、経営管理を適切に行っている農業者（個人・法人）です。

引き続き、収入保険制度の助成措置（保険料1/2補助）を継続していく方針ですので、自然災害等に備え、農業経営の安定化を図るためにも、もう一度、制度加入等について再考してみてもいかがでしょうか。



松本町長に贈呈された感謝状

<p>自然災害や病虫害、鳥獣害などで収量が下がった</p>	<p>市場価格が下がった</p>
<p>災害で作付不能になった</p>	<p>けがや病気で収穫ができない</p>
<p>倉庫が浸水して売り物にならない</p>	<p>取引先が倒産した</p>
<p>盗難や運搬中の事故にあった</p>	<p>輸出したが為替変動で大損した</p>

様々なリスクから農業経営を守ります！

檜葉町のCEで保管された「玄米」を販売中です！！

地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消（ちさんちしょう）」の取組みとして昨年12月からカントリーエレベーター（CE）で保管された玄米の直接販売を始めました。「コシヒカリ」と「天のつぶ」の1等米で玄米（30kg/袋）販売となります。引き続き、JA福島さくら檜葉支店にて予約を受け付けていますので、毎月20日までにお申し込み（翌月1日引き渡し）をお願いいたします。

※お問い合わせは、JA福島さくら檜葉支店まで！

住所：双葉郡檜葉町大字下小埞字大木下5-1 ☎0240-25-3131



町内で栽培された「カンパニュラ」
花言葉は「感謝」「誠実」「共感」

👁️見直そう！農業機械作業の安全対策🛡️

令和4年3月
福島県檜葉町（産業振興課）
〒979-0696
双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6
TEL：0240-23-6104
FAX：0240-25-1234



こども議会開催！～農業をさらに活性化～

1月27日、檜葉町こども議会が開催され、小林颯（はやと）議員から「農業をさらに活性化させる取組み」について質問がありました。

【小林議員】

檜葉町では、農業にも力を入れていますが農業を担う若い人が少ないというのが全国でも問題になっています。そこで、ロボットをたくさん使い、もっと便利で簡単に農業ができるようにしてはどうでしょうか。

【松本町長】

檜葉本来の自然豊かな風景を取り戻すため、農業分野も重点的に取り組んでいます。生産性を高めるため、ロボット等の先端技術を活用するのは重要です。最先端の科学技術による農業を行うことで「みんなで楽しめる」「儲かる」「檜葉町でしかできない」スマートな農業の実現により、みんなが笑顔になれるよう農業の活性化を図りながら取り組んで参ります。

スマート農業とは？

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」と定義し、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、農作業の省力化や精密化、高品質生産を実現するための新たな農業のこと。

①作業の自動化

ロボットトラクタやスマホで操作する水管理システム等の活用により、作業を自動化。

②情報共有の簡素化

位置情報システムと連動した経営管理アプリの活用により、作業記録をデジタル化・自由化。

③データの活用

ドローン・衛星による気象データ等のAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に。

大谷地区の「ランチ居酒屋すずみや」の横田三佐江さんは、町内産のさつまいもを活用し「さつまいもプリン」と「ロール大学芋」を試作しました。横田さんは「自然な甘さを活かすため、砂糖はいつもの1/3の量に控えプリンを試作。大学芋はスライスして食感を楽しめるように工夫しました♪」とおっしゃっていました。

横田さんは料理教室（大人の食育）のほか、地産地消にも取り組んでおり、お米は町内産のコシヒカリを使用しています。米の消費拡大を🍚
 <お問い合わせ> 檜葉町大谷字堂ノ内97 ☎0240-23-5121



さつまいもを受取る
横田三佐江さん



さつまいもプリンに
チップをトッピング



さつまいもをくるっと
巻いたロール大学芋🍠

稲作は作業の効率化を図るため大区画化が進むとともに省力化が推進されてきましたが、一方で機械の大型化等による不均平も課題となっています。

レーザーレベラーを使用し、水田の作土層を均平化することにより水管理が容易になり、初期成育のバラツキ等が抑制されるほか、肥料や除草剤の適正効果的利用が可能となります。

※ほ場面に凹凸があると凸部から雑草が繁茂しますので均平化は重要です。



直装式の
レーザーレベラー



レーザー発光器



けん引式の
レーザーレベラー

レーザーレベラーとは？

レーザー装置の自動制御により、高低差±2.5cmの精度で平らに均すことができます。

トラクター後部に受光器を装着し、直装式若しくは、けん引式の作業機を用いて水田の作土層を平らに均す作業機械です。

令和3年度檜葉町甘藷生産部会「勉強会」開催！

2月2日、役場大会議室において「JA福島さくらふたば地区檜葉町甘藷生産部会」の実績検討会及び栽培指導会が開催されました。約30名の部会員等が参加しました。

【甘藷生産部会：猪狩部会長】

「関係機関のご協力により甘藷部会がスタート。昨年は、33名の農業者が約9haのほ場で甘藷栽培を行いました。今年は新たな部会員が加わり、作付面積も拡大します。品質と収量の向上にチャレンジしていきましょう！」とあいさつがありました。



【部会員数】

令和3年度：33名
 令和4年度：41名
 （※新規加入者8名）

【作付面積】

令和3年度：約9ha
 令和4年度：約16ha
 （※増加する可能性あり）

【福島県相双農林事務所双葉農業普及所：桂副主査】

「品種の特性や育苗方法、土づくり、施肥、マルチ前の農薬処理、植付け（畝立て）、植付け、除草対策等」について説明がありました。



【JA福島さくらふたば地区本部：松崎主任】

「令和3年度の収穫実績と生育経過に関する報告及び、令和4年度に向けた育苗やほ場準備等（虫害・雑草対策・電気柵の定期的な確認）」について説明がありました。



新規会員も参加した甘藷生産部会の勉強会

【福島しろはとファーム】

「良質な甘藷を納めていただき感謝申し上げます。今年度も引き続き高品質な原料出荷をお願いいたします。」
 出荷時の留意点として「裂開芋や異物と小芋の混入に注意して出荷願います。」との要望があり、部会員全体で確認しました。

